

<space B>
+
188 co.,ltd.
presents

GAKU AZUMA 妖艶墨画 & 演劇フライヤー の ART&DESIGN GALLERY (space B)

2010/4/12 mon. ~ 24 sat.

大阪成蹊大学
芸術学部
京都・長岡京キャンパス



大阪ミナミの艶町に生息するアートディレクターの異端児であり、女しか描かない平成の浮世絵師GAKU AZUMA (東學)。本展覧会では、10mの超大作『天妖花戦』の完成披露をはじめ、シンガー鬼束ちひろ本人から依頼されCDジャケットとなった『陽炎』、NHKハイビジョン特集〈永遠の風神雷神図～俵屋宗達～〉にて紹介された『風之女神・雷之女神』、エロティシズムが匂いたつ遊女シリーズを公開。また、ロフトスペースでは80年代の小劇場ものから、90年代にはじまる維新派、劇団EXILEなど、多岐にわたるポスターやフライヤーを展示する。



彼の描く女は、死んだ魚のような眼をしている。しかしながら、彼の墨には不思議な生命力がある。まるで、一度は死んだ女に息を吹き込んでいるような。まるで、歳をとる事のない美しさを封じ込めているような。彼の女を見てみると、そこにはない筈の場所から、何者かに睨まれているような錯覚に陥る。染み込んだ墨の奥から、誰かが微笑を浮かべているような寒気を感じる。それは、まだ生きていたかも知れない、女達の息使いのような。それは、まだ触れられていないはずの、私の肌を撫でるような。そんな感覚に似ている。

(歌手・作詞作曲家 / 中村中)



Ataru Nakamura

2010年4月12日(月)~24日(土) 開廊時間12:00~18:30 (土曜日は17:00) ※日曜休廊 入場無料
大阪成蹊大学芸術学部ギャラリー space B



〒617-0844 京都府長岡京市調子1-25-1

公開講座【無料】
4月20日(火)13:10~16:20 大阪成蹊大学芸術学部141教室
『アートディレクター&絵師。二束の雪駄をはく男<東學>、その絶対美のつくりかた』
絵は聖域。誰にも邪魔されたくないもの。だから、デザインで飯を食ってるわけだけど、このデザインの世界も面白くてしゃあない——奇才・東 學が語る「美しさの見つけ方」。※参加希望の方は、総合支援センターまで、電話にてお申し込みください。



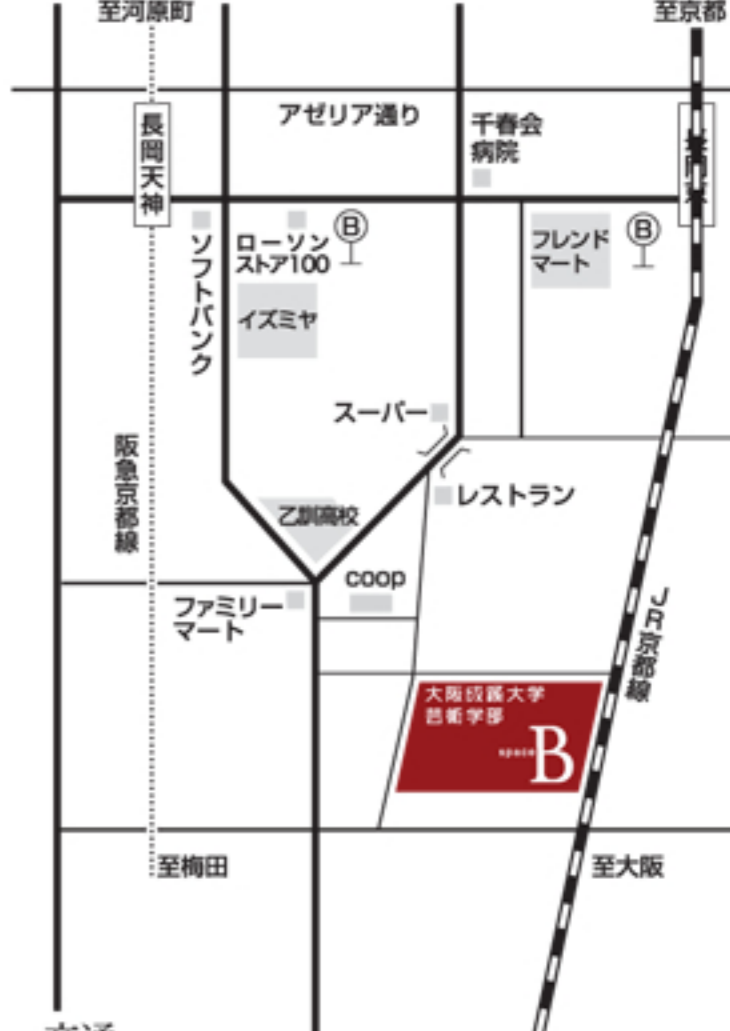
維新派「ろじ式」'09年 シアターコロン「阪原校校」'07年 wat meyhemi「ワグネル、斬られて候」'09年 R.U.P「女信長」'09年 PARCO「変身」'10年



1963年、京都生まれ。父は扇絵師である東筆蒼。幼い頃から絵筆に親しむ。アメリカのハイスクール時代に描いた「フランス人形」はニューヨークのメトロポリタン美術館に永久保存されている。20才でグラフィックデザイナー・アートディレクターとしての頭角を現し、主に舞台やテレビ、音楽関係などのグラフィックワークを手がける。97年、世界的に活躍する劇作家・松本雄吉にアートワークを認められ「維新派」の宣伝美術に就任。03年、森田恭通氏プロデュースのニューヨークにある日本食レストラン「MEGU」にて装飾絵画(墨絵を中心した浮世絵シリーズ)を製作。また、06年「MEGU」の2号店(トラパンタワー)でも、写真家・須佐一心氏とのコラボレーションで、店内装飾を手がけた。04年、「ジャパンアヴァンギャルド〜アンダグラ演劇傑作ポスター100」(PARCO出版)の装丁、アートディレクターとしての活躍の他、女体を中心とした現代の浮世絵。07年 PARCO出版より画集「天妖」を出版。今年1月には渋谷ポスター・ウォールギャラリーにて、1ヶ月間にも及ぶ展覧会を開催した。http://www.188.jp/gaku/

お問い合わせ・公開講座申込 / 大阪成蹊大学芸術学部総合教育研究支援センター
tel.075-953-1113 fax.075-953-1119
e-mail cersc@osaka-seikei.ac.jp URL www.os-spaceb.jp

大阪成蹊大学
芸術学部
京都・長岡京キャンパス



交通
●JR京都市線「長岡京」駅下車徒歩15分
●阪急京都線「長岡天神」駅下車徒歩15分
※駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

space B + 10 Birth presents

GAKU AZUMAの妖艶墨画 & 演劇フライヤー美術展

主催・企画 / 大阪成蹊大学芸術学部
総合教育研究支援センター 芸術研究センター
共催 / 株式会社三八八